



## 防火意識を高めました

文化財防火デーに伴う消防訓練（1月26日）

1月26日の文化財防火デーに伴い阿保にある大村神社で消防訓練を行いました。

消防職員や消防団員、宮司による一斉放水や、バケツリレー・水消火器による初期消火訓練、AED 取り扱い訓練などの防災指導訓練を行いました。その他、地域の人や日本赤十字奉仕団による炊き出し訓練、消防車両の展示も行われました。



▲水消火器で初期消火の訓練をしました。

◀一斉放水の様子



◀沿道からは選手に向けて声援が送られました。

▶スタートの合図とともに勢いよく走り出す選手

## 想いを一つにたすきをつなぐ

第59回伊賀地区駅伝競走大会（1月27日）



ゆめが丘地内を会場に、毎年恒例となっている伊賀地区駅伝競走大会が開催されました。

沿道にはのぼりを持った人など、応援団が駆けつけ、選手たちは応援にこたえて精いっぱい走り切りました。



業界大手アルソックの伊賀地区限定求人募集!!

営業スタッフ（正社員）

月給20万円以上・賞与年2回  
月間報奨金・各種手当・退職金制度  
**年間特別報奨金も  
あります!**

機械警備隊・施設警備員

（有期社員）  
月給21万円・賞与年2回・休日シフト制  
各種社会保障完備・制服無料貸与・禁煙手当  
交通費(上限有)他 ※社内規定あり

お電話  
お待ち  
します!



三重総合警備保障(株) 〒510-0074 四日市市鶴の森2-6-3 ☎0120-510-110



☎22・9636

【問い合わせ】 広聴情報課

【申込期限】 発行日2ヵ月前

【掲載料】 1枠・2万円

(縦5cm×横9cm)

【発行部数】 毎号約36,000部

【発行部数】

広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

有料広告を募集します



新たな門出を祝う—



お祝いに御赤飯

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



# 想像力の大切さを学びました

## 第10回いがファミリーフェスタ（2月3日）



▲一生懸命考えて工作に取り組みました。



▲講師の話を熱心に聞いていました。

ゆめポリスセンターで第10回いがファミリーフェスタが開催されました。

第1部は大人向けに講演会、子ども向けに人形劇が行われました。

講演会では、講師のNPO法人子どもアイデア楽工 理事長の山上敏樹さんが、子どもたちが自ら考え行動する大切さを話しました。

第2部では親子で工作をし、講師はどうすればできるかを考えることで想像力が高まるとして、子どもに作り方を教えないで作らせてみよう話し、子どもたちは見本を観察して、考えて作っていました。

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

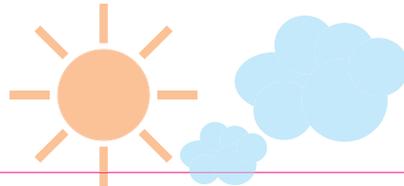
募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

本紙11ページの「横光利一『雪解』のつどい」についてわかりやすく解説します。



### こども広場 「横光利一『雪解』のつどい」



●伊賀のまちを舞台にした物語『雪解』  
横光利一が書いた小説はいくつもあります。その中で『雪解』は伊賀のまちを舞台に繰り広げられる話です。いまの学年でいえば中3から高1ぐらいの年齢の男子と小6の女子が登場します。ふたりは「城を後にした町」で出会い、好意を寄せ合います。横光利一は、伊賀ですごした高校時代をなつかしく思い出しながら、この話を書いたのでしょう。

●横光利一を知っていますか  
横光利一は昔の小説家、つまり物語を書いた人です。昭和初期を代表する小説家のひとり、伊賀だけでなく日本中で知られています。お母さんが伊賀の柘植の人のため、小学生時代には柘植で暮らしていました。また、その後は現在の上野高等学校（その頃は三重県立第三中学校と呼ばれていました）に通い、上野のまちに住んでいました。

●横光利一を知るためのイベント  
私たちのまちで暮らした横光利一を知るためのイベントが、『雪解』のつどいゲームをします。伊賀の高校生たちが参加して、自分の好きな横光利一の小説を選び、その話がどんなにおもしろいかを紹介し、その話がどんなにおもしろいかなを一番おもしろそうだと思った話を選んで投票し、優勝を決めます。子どもも大人も参加できますので、ぜひ遊びに来てくださいね。

▶上野高等学校正門脇にある横光記念碑



◀中学時代の横光利一



【問い合わせ】文化交流課

☎ 22・69221 FAX 22・9919  
✉ bunka@city.iga.lg.jp